

問29. あなたは上司に対して、AとBのどちらに近いイメージをお持ちですか。(各項目で1つに○)

	A Aで ある	どちら かとい うとA とB	どちら かとい うとB とある	B
A. 上司は積極的に年休を取るタイプ	1	2	3	4
A. 上司は、部下の年休取得の奨励に積極的なタイプ	1	2	3	4

問30. あなたの勤務先は、年次有給休暇の取得促進に積極的ですか。(1つに○)

- 積極的である
- やや積極的である
- どちらともいえない
- やや消極的である
- 消極的である

問31. あなたの勤務先では、年休取得率や年休取得日数などの目標を定めていますか。(1つに○)

- 年休取得率の目標のみを設定している
- 年休取得日数の目標のみを設定している
- 年休取得率及び取得日数双方について目標を設定している
- 上記以外の目標を設定している (具体的に)
- 何らの目標も設定していない
- わからない

問32. あなたは年休取得率や年休取得日数などの目標を企業が定めることについてどう思いますか。(1つに○)

- ぜひ設定してほしい
- あまり設定してほしい
- どちらかといえば設定してほしい
- まったく設定する必要はない

3. 特別休暇制度について

※休暇には、利用目的を問わず自由に利用できる「年次有給休暇」と、病気や慶弔行事など特定の理由が生じた場合に認められる「特別休暇」があります。問33では、特別休暇に関してお答え下さい。

問33. あなたの勤務先には、(1)以下のような特別休暇制度がありますか。以下のa～gの各項目について、該当する番号に○をつけてください。(1つに○) また、「3. ある」場合には、(2)賞金の支給(1つに○)、及び (3)2018年度1年間の利用状況(1つに○)について、該当する番号を○で囲んでください。

	(1) 制度の有無 (1つに○)			(2) 賞金の支給 (1つに○)			(3) 2018年度1年間の 利用状況 (1つに○)		
	不明	ない	ある	有給			無給		
				全額	一部	無	全額	一部	無
a. 自分の病気のための特別休暇 (病気休暇等)	1	2	3	→	1	2	3	1	2
b. 慶弔休暇(結婚式、葬儀などのため)	1	2	3	→	1	2	3	1	2
c. 夏季特別休暇(年次有給休暇以外の夏休み)	1	2	3	→	1	2	3	1	2
d. 年末年始休暇(年次有給休暇、法定祝日 以外の特別休暇)	1	2	3	→	1	2	3	1	2
e. リフレッシュ休暇(一定の勤続年数で与 えられる特別休暇)	1	2	3	→	1	2	3	1	2
f. 教育訓練休暇(自己啓発、研修などのた めの特別休暇)	1	2	3	→	1	2	3	1	2
g. ボランティア休暇(ボランティア活動の ための特別休暇)	1	2	3	→	1	2	3	1	2

4. 子の看護休暇、介護休暇について

問34. あなたの勤務先には、(1)子の看護休暇、介護休暇、介護休暇がありますか。<5頁に制度概要があります>
以下のa、bの各項目について、該当するものに○をつけてください。(1つに○)
また、「3. ある」場合には、(2)賞金の支給(1つに○)、及び (3)2018年度1年間の利用状況(1つに○)について、該当する番号を○で囲んでください。

	(1) 制度の有無 (1つに○)			(2) 賞金の支給 (1つに○)			(3) 2018年度1年間の 利用状況 (1つに○)		
	不明	ない	ある	有給			無給		
				全額	一部	無	全額	一部	無
a. 子の看護休暇	1	2	3	→	1	2	3	1	2
b. 介護休暇	1	2	3	→	1	2	3	1	2

問20. 勤務先でのあなたの昨年1年間の税込年収はどのくらいでしたか。(1つに○)

- 100万円未満
- 100～200万円未満
- 200～300万円未満
- 300～400万円未満
- 400～500万円未満
- 500～600万円未満
- 600～700万円未満
- 700～800万円未満
- 800～900万円未満
- 900～1,000万円未満
- 1,000万円以上

問21. 勤務先では、週単位で何日間働いていますか。時期によって繁閑のある場合は、平均的な日数をお答えください。

週 日

問22. 就業規則等で定められた、あなたに適用されている1週間あたりの所定労働時間(残業時間は除きます)は何時間ですか。(変形労働時間制などで一定でない場合は、平均的な所定労働時間をお答え下さい)。

週 時間 分

問23. 1週間あたりの残業時間も含めたあなたの実際の労働時間はどのくらいですか。時期によって繁閑のある場合は、平均的な時間をお答えください。

週 時間(くらい)

問24. 勤務先では、あなたは、どのような週休制度が適用されていますか。なお、以下でいう「完全週休2日制」とは、1週間で2日間(通常)に休日となることを言います。変形労働時間制などで不定期の場合、平均的な週の休日数をお答え下さい。(1つに○)

- 週休1日制、または週休1日半制
- 完全週休2日制
- 完全週休2日制より休日日数が実質的に少ない制度(月3回、隔週、月2回、月1回の週休2日制
の他、3勤1休、4勤1休等)
- 完全週休2日制より休日日数が実質的に多い制度(月1回以上週休3日制、3勤3休、3勤4休等)

問25. あなたは勤務先ではどのような勤務時間制度を適用されていますか。(1つに○)

- 通常の勤務時間制度(以下の2～8に該当しない場合)
- フレックスタイム(一定の時間内で始業、終業時刻を自分で調整できるものです)
- 変形労働時間制(一定の期間だけ勤務時間が異なるものです)
- 交替制(昼シフト、夜シフトなど)
- 裁量労働制・事業場外みなし労働時間制(裁量労働制は専門職、企画職に、事業場外みなし労働時間制は営業職等に適用される労働時間をみなす制度です)
- 高度プロフェッショナル制度(労働者が、勤務時間を自ら決定することができるものです)
- 管理監督者(単なる管理職ではなく、労働時間等の規定が適用除外となっているものをいいます)
- その他()

問26. 2018年度に、あなたは、テレワークをしましたか。(1つに○)

※テレワークとは、情報通信技術を活用し、自宅やサテライトオフィス、カフェ・ファミリールーレストランのように、職場(自社及び客先)以外の場所で働くことを指します。

- 実施した
- 実施していない
- 企業がテレワークを認めていない

問27. あなたの現在の勤務先の仕事について、どのように感じていますか。(1つに○)

- かなり忙しい
- やや忙しい
- それほど忙しい
- 忙しくない

問28. あなたの仕事や職場についてうかがいます。以下のa～kの各項目について、該当する番号に○をつけてください。(各項目で1つに○)

	かなり 当てはまる	やや 当てはまる	あまり当て はまらない	全く当て はまらない
a. 自分の仕事と個人の仕事との境界が明確に分かれている	1	2	3	4
b. 仕事の手順を自分で決めることができる	1	2	3	4
c. 仕事の量を自分で決めることができる	1	2	3	4
d. 自分の仕事のやり方を工夫することができる	1	2	3	4
e. 仕事の責任・権限が重い	1	2	3	4
f. かけた時間が成果に直結する仕事である	1	2	3	4
g. 突発的な業務が生じることが頻繁にある	1	2	3	4
h. 自分の仕事はチーム作業である	1	2	3	4
i. 達成すべきノルマ・目標が厳しい	1	2	3	4
j. 今の職場に自分の仕事を代わりに行っている人がいる	1	2	3	4
k. 職場全体で常に情報の共有化をはかるよう努めている	1	2	3	4

問 39. 2018 年度に取得した年休は、あなたの希望どおりに取れましたか。(A) 時季 (時期) と (B) 日数についてそれぞれお答えください。(各項目で 1 つに○)

希望どおり 取れた	希望どおり 取れなかった	あまり希望 どおり取れ なかった	希望どおり 取れなかった	2018 年度は 1 日も年休 を取得できなかった
1	2	4	5	6
(A) 時季 (時期)	1	2	3	4
(B) 日数	1	2	3	4

問 40. あなたの 2018 年度の年次有給休暇の取得日数は 3 年前と比べては増えましたか、あるいは減りましたか。(もっとも近い 1 つに○)

- 1. 5 日以上増えた
- 2. 3 ~ 4 日増えた
- 3. 1 ~ 2 日増えた
- 4. 変化しなかった
- 5. 1 ~ 2 日減った
- 6. 3 ~ 4 日減った
- 7. 5 日以上減った

問 41 (7 頁) へ

※現在の勤務先での勤続年数が 3 年に満たない場合は入社当初時から比較してお答えください
(以下、3 年前と比較する期間について同じ)。

(問 40 で、選択肢 1 ~ 3 (増えた) と答えた方にお聞きします。)

付問 1. 年次有給休暇の取得日数が増えたのはなぜですか。(該当すべてに○)

1. 会社の取組み (働き方改革等) により取りやすい就業環境になったから
2. 上司に有給休暇を取得するよう勧められるようになったから
3. 法律等の改正の影響もあり、周囲に有給休暇を取りやすい環境ができたから
4. 職場の人数が増えたから
5. 年休取得中の代替要員が確保されたから
6. 仕事の内容、進め方の見直しがあったから (仕事の効率化、責任分担の見直し等)
7. 仕事の裁量度が高まったから
8. 仕事が計画的にできるようになったから
9. 勤続年数が長くなり、休暇申請がしやすくなったから
10. 忙しくなくなったから (会社全体で労働時間が減っている)
11. 忙しくなくなったから (部署の異動・業務内容の変更で労働時間が短くなった)
12. 自分で積極的に取得するよう心掛けたから
13. 個人的理由により、有給休暇が必要になったから
14. その他 ()
15. 特段理由はない

問 41 (7 頁) へ

(問 40 で、選択肢 5 ~ 7 (減った) と答えた方にお聞きします。)

付問 2. 年次有給休暇の取得日数が減ったのはなぜですか。(該当すべてに○)

1. 会社が取得促進に取り組まないから
2. 上司に有給休暇の取得促進に消極的だから
3. 休むと人事評価が下がるから
4. 職場の人数が減ったから (人員配置が不足状態にある)
5. 仕事の内容、進め方の見直しがないから (仕事の効率化、責任分担の見直し等が不十分)
6. 仕事の裁量度が低いから
7. 年休取得中の代替要員の確保がされていないから
8. 忙しくなったから (会社全体が繁忙期にある)
9. 忙しくなったから (部署の異動・業務内容の変更で労働時間が長くなった)
10. もともと年休を多く取得したいと思っていないから (もっと働きたい)
11. その他 ()
12. 特段理由はない

問 41 (7 頁) へ

＜子の看護休暇、介護休暇の制度概要＞
○子の看護休暇 (育児・介護休業法第 16 条の 2、第 16 条の 3)
小学校就学の始期に達するまでの子を養育する労働者は、その事業主に申し出ることにより、1 の年度において 5 労働日 (その養育する小学校就学の始期に達するまでの子が 2 人以上の場合には 10 労働日) を限度として、負傷し、又は疾病にかかった子の世話又は疾病の予防を図るために必要な世話をを行うための休暇を取得することができる。
○介護休暇 (育児・介護休業法第 16 条の 5)
要介護状態にある対象家族の介護など世話をを行う労働者は、その事業主に申し出ることにより、1 の年度において 5 労働日 (要介護状態にある対象家族が 2 人以上の場合には 10 労働日) を限度として、その世話をを行うための休暇を取得することができる。

5. 年次有給休暇について
※以下の設問では、**年次有給休暇**に關してのみ、お答え下さい。**年次有給休暇は、問 33 の特別休暇や問 34 の子の看護休暇、介護休暇とは別の制度です。**

問 35. 2018 年度の初めの時点で、権利として持っていた年次有給休暇の日数は何日ありましたか。
(a) 2018 年度に新規に付与された日数、(b) 2017 年度から繰り越された日数、そして、両者の合計である (c) 2018 年度初めに権利として持っていた年次有給休暇の日数に分けてお答えください。

※問 35、問 37 の「2018 年度」については、あなたの年次有給休暇が新しく付与された月からの 1 年間とお考え下さい。通常は、採用された月からの 1 年間となります。したがって 4 月採用の方は 2018 年 4 月 ~ 2019 年 3 月となります (年次有給休暇の付与が年単位の場合は、2018 年 1 月 ~ 2018 年 12 月でお答えください)。

(a) 2018 年度に新規に付与された年次有給休暇の日数	日
(b) 2017 年度から繰り越された年次有給休暇の日数	日
(c) 2018 年度初めに権利として持っていた年次有給休暇の日数 (a)+(b)	日

問 36. あなたの年次有給休暇が新しく付与される月をお答えください。(1 つに○)

1. 1 月 3. 3 月 5. 5 月 7. 7 月 9. 9 月 11. 11 月
2. 2 月 4. 4 月 6. 6 月 8. 8 月 10. 10 月 12. 12 月

問 37. 2018 年度の 1 年間で、年次有給休暇を使った (実際に取得して休んだ) 日数は全部で何日ありましたか。1 日も使わなかった場合は「00」と記入して下さい。

2018 年度 1 年間で使った年次有給休暇の日数

日

※時間単位で取得した分は、足し上げて日数に換算し、端数は四捨五入してください。

問 38. 問 37 でご回答の、取得した年次有給休暇について、どのような用途で何日くらい使いましたか? 以下の a~i の該当する用途それぞれに使用した日数を記入してください。なお、該当しない用途には「00」と記入して下さい。

※お手数をおかけしますが、問 37 の日数の合計に合うように思い出してご記入ください。
なお 01 日を 2 つ以上の用途に使用している場合は、主な用途いづれか 1 つを選んでお答えください。

用途	日数
a. 旅行・レジャー・帰省などの外出	日
b. 家での休養	日
c. 自分の病気・けがの療養	日
d. 家族の病気・けがの看病など	日
e. 寝たきりの家族などの介護	日
f. 家事・育児	日
g. 夜所への届け出など	日
h. 自己啓蒙のための学習など	日
i. その他の活動	日
上記 a ~ i までの合計日数	日

※時間単位で取得した分は、足し上げて日数に換算し、端数は四捨五入してください。

日 = 問 37 でご記入頂いた日数

問 41. 3年前と比べて、年次有給休暇は取りやすくなっていますか、それとも取りにくくなっていますか。(1つに○)

- 1. かなり取りやすくなった
- 2. やや取りやすくなった
- 3. どちらともいえない
- 4. やや取りにくくなった
- 5. かなり取りにくくなった

(問 41 で 1 または 2 と回答した方にお尋ねします。)

付問. 年休が取りやすくなった理由は何ですか。(該当すべてに○)

1. 年休の年 5 日の取得義務化の施行
2. 年休の計画的付与制度の導入・定着
3. 年休取得のための目標設定 (取得率、取得日数等)
4. 時間単位年休制度の導入・拡充
5. 不慮の事態に備えた特別休暇等の導入、拡充 (病気休暇、子の看護休暇、介護休暇等)
6. 職場の人数が増えたから
7. 仕事の内容、進め方の見直し (仕事の効率化、責任分担の見直し等)
8. 業績悪化の生産調整等で仕事の量が減っているから (一時休業等)
9. 会社や上司などからの年休取得への積極的な働きかけ
10. 自分で積極的に取得するよう心掛けた
11. その他 ()

→ 問 42へ

問 42. 年次有給休暇を取り残す理由についてお聞きします。

- (1) あなたは、年次有給休暇をすべて消化 (1日も取り残すことがない) していますか。(1つに○)
 1. 年休を取り残すことがある
 2. 年休を1日も取り残さない

(「1. 年休を取り残すことがある」と回答した方は以下の設問(2)にお答えください。「年休を1日も取り残さない」と回答した方は、問 43 (8頁)にお進み下さい。)

(2) あなたが年次有給休暇を取り残すのはどのような理由によると思いますか。以下の a ~ n の各項目について、該当する番号に○をつけてください。(各項目で1つに○)

	そう思う	どちらかと思う	どちらとも言えない	どちらかと思わない	そう思わない
a. 病気のために残しておく必要があるから	1	2	3	4	5
b. 急な用事のために残しておく必要があるから	1	2	3	4	5
c. 仕事の量が過ぎて休んでいないから	1	2	3	4	5
d. 休みの間仕事を引き継いでくれる人がいないから	1	2	3	4	5
e. 休むと職場の他の人に迷惑になるから	1	2	3	4	5
f. 職場の周囲の人が取らないので年休を取りにくいから	1	2	3	4	5
g. 現在の休暇日数が十分だから	1	2	3	4	5
h. 休んでも構わないから	1	2	3	4	5
i. 子どもの学校や部活動のため、休みの時期が合わないから	1	2	3	4	5
j. 配偶者や友人と休みの時期が合わないから	1	2	3	4	5
k. 交通費や宿泊費、レジャーなどにお金がかかるから	1	2	3	4	5
l. 休むと仕事から取り残されるような気がするから	1	2	3	4	5
m. 上司が、いい顔をしないから	1	2	3	4	5
n. 勤務評価等への影響が心配だから	1	2	3	4	5

6. 連続2週間程度の長期休暇について

問 43. 2018年度、あなたは連続2週間程度の長期休暇を取得しましたか。(1つに○)

- 1. 取得しなかった
- 2. 取得した

※ここでの連続2週間程度の長期休暇とは、最長で2週間以上(週休日や祝祭日を含んでもかまいません)となる連続休暇をいい、産前・産後休暇、育児休業、介護休業、病欠休暇、病気休暇、次勤は含まれません。

(問 43 で「1. 取得しなかった」と回答した方にお聞きします。)

付問. あなたは、連続2週間程度の長期休暇を取得したいと思いませんか。(該当すべてに○)

1. 取得したいと思うが、年休の付与日数が足りなくて取れない
2. 取得したいと思うが、仕事の都合がつかなくて取れない
3. 取得したいと思うが、収入・貯蓄が少なくて取れない
4. そもそも取得したいとは思わない

→ 問 44へ

問 44. 連続2週間程度の長期休暇を取得するために何が必要だと思いますか。(該当すべてに○)

1. 年次有給休暇の計画的な付与制度の導入
2. 不慮の事態に備えた特別休暇等の拡充 (病気休暇、子の看護休暇、介護休暇など)
3. 長期休暇を取得可能とするような特別休暇の拡充 (リフレッシュ休暇やボランティア休暇など)
4. 休暇中のサポート体制の整備 (代替要員の確保等)
5. 仕事量の見直し
6. 長期休暇を取りやすくなるような職場の雰囲気改善
7. 長期休暇を取ることで人事考課・査定がマイナスにならないようなルールの徹底
8. 経営トップが長期休暇取得促進に積極的であること
9. 管理職に対する意識改革教育
10. 長期休暇を取得しない労働者への啓発
11. 収入の増加
12. その他 ()

7. 年次有給休暇の半日単位取得制度について

問 45. あなたは、半日単位の年次取得制度 (慣行を含む) がありますか。(1つに○)

1. 半日単位の年次取得制度はない
2. 半日単位の年次取得制度がある
3. わからない

8. 年次有給休暇の時間単位取得制度について

問 46. あなたは、年次有給休暇の時間単位取得制度 (労使協定を締結すれば、年 5 日を限度として、時間単位で年次有給休暇を与えることができる制度) について、知っていますか。(1つに○)

- ※時間単位取得制度とは、問 45 の半日単位の年次取得制度とは別の制度です。
1. 内容を全く知らない
2. 聞いたことがある
3. 知らない

問 47. あなたは時間単位年休を取得できる対象労働者ですか。(1つに○)

1. 勤務先には時間単位年休制度が導入されており、その対象労働者である
2. 勤務先には時間単位年休制度が導入されているが、その対象労働者ではない
3. そもそも勤務先には時間単位年休制度が導入されていない
4. わからない

(問 47 で 2 ~ 4 のいずれかと回答した方にお聞きします。)

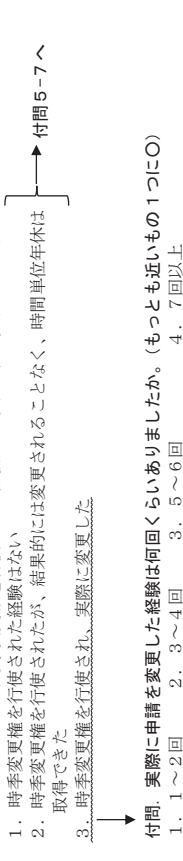
付問. あなたは、勤務先に時間単位年休制度を導入・適用してほいすか。(1つに○)

1. 導入・適用してほしい
2. 導入・適用してほいすとは思わない

→ 問 48 (11頁)へ

付問5-5. 2018年度において、取得した時間単位年休は、総計で何日分ですか。(もっとも近いもの1つに○)
 1. 1日未満 3. 2日分以上～3日未満 5. 4日分以上～5日未満
 2. 1日分以上～2日未満 4. 3日分以上～4日未満 6. 5日分すべて

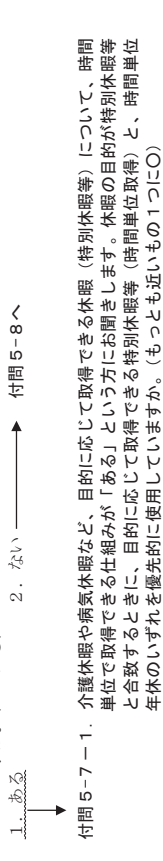
付問5-6. 2018年度において、時間単位年休を申請した際、上司や使用者から取得時間を変更するよう指示されたこと(時季変更権を行使された経験)はありますか。(1つに○)
 1. 時季変更権を行使された経験はない
 2. 時季変更権を行使されたが、結果的には変更されなかった
 3. 時季変更権を行使されたが、実際に変更した取得できた
 4. 時季変更権を行使され、実際に変更した



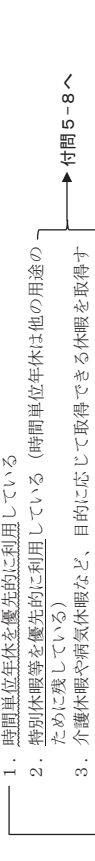
付問 5-7. あなたの勤務先には、目的に応じて取得できる休暇(例えば、病気休暇等の特別休暇や介護休暇、子の看護休暇等。以下、「特別休暇等」と略す)で、時間単位で取得できる仕組みはありますか。(1つに○)
 1. 1～2回 2. 3～4回 3. 5～6回 4. 7回以上

→付問5-7

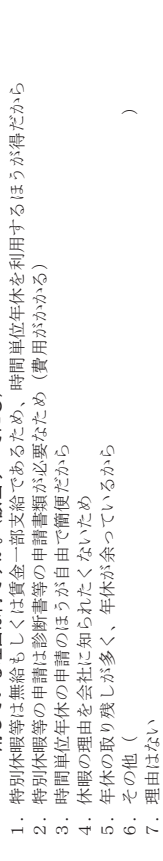
付問5-7. あなたの勤務先には、目的に応じて取得できる休暇(例えば、病気休暇等の特別休暇や介護休暇、子の看護休暇等。以下、「特別休暇等」と略す)で、時間単位で取得できる仕組みはありますか。(1つに○)
 1. ある 2. ない → 付問5-8



付問5-7-1. 介護休暇や病気休暇など、目的に応じて取得できる休暇(特別休暇等)について、時間単位で取得できる仕組みが「ある」という方にお聞きします。休暇の目的が特別休暇等と合致するときに、目的に応じて取得できる特別休暇等(時間単位取得)と、時間単位年休のいずれを優先的に使用していますか。(もっとも近いもの1つに○)
 1. 時間単位年休を優先的に利用している
 2. 特別休暇等を優先的に利用している(時間単位年休は他の用途のために残している)
 3. 介護休暇や病気休暇など、目的に応じて取得できる休暇を取得する事柄がないのでわからない



付問. 「1. 時間単位年休を優先的に利用している」方にお聞きします。時間単位年休を優先的に利用している理由は何ですか。(該当すべてに○)
 1. 特別休暇等は無給もしくは賃金一部支給であるため、時間単位年休を利用するほうが得だから
 2. 特別休暇等の申請は診断書等の申請書類が必要なため(費用がかかる)
 3. 時間単位年休の申請のほうが自由で簡便だから
 4. 休暇の理由を会社に知られたくないため
 5. 年休の取り残しが多く、年休が余っているから
 6. その他()
 7. 理由はない



付問5-8. あなたは、時間単位年休制度について、どのように感じていますか。以下のa～gの各項目について、近い方をお答えください。(各項目でもっとも近いもの1つに○)

	そう思う	どちらかと思う	どちらかと思わない	そう思わない
a. 時間単位年休は有効に利用されている	1	2	3	4
b. 時間単位年休は便利で良い	1	2	3	4
c. 時間単位年休は、いざという時に使える安心感があって良い	1	2	3	4
d. 上司、同僚、部下が時間単位年休を取得しても職場に支障はない	1	2	3	4
e. 時間単位年休の取得において、業務に与える影響は特段ない	1	2	3	4
f. 時間単位年休の取得がしやすい職場の雰囲気がある	1	2	3	4
g. 時間単位年休があることで、1日単位の年休を取りづらくなった	1	2	3	4

(問47で「1. 勤務先には時間単位年休制度が導入されており、その対象労働者である」と回答した方にお聞きします。)

付問1. あなたが1年間に取得できる時間単位年休の日数は何日ですか。(もっとも近いもの1つに○)
 1. 1日 2. 2日 3. 3日 4. 4日 5. 5日

付問2. あなたは、時間単位年休を取得できる日数について、どのように思いますか。(1つに○)
 1. 増やしてほしい 2. ちょうどよい 3. 減らしてほしい

付問2-1. どの程度の限度日数だとよいと思いますか。(もっとも近いもの1つに○)
 1. 5日以内
 2. 年休付与日数の半分程度
 3. 年休付与日数の全

付問3. あなたの時間単位年休の取得できる最小の単位はどれですか。(1つに○)
 1. 1時間 2. 2時間 3. 3時間 4. 4時間 5. その他()

付問4. あなたは、勤務先での時間単位年休を取得できる最小の単位について、どのように思いますか。(もっとも近いもの1つに○)
 1. ちょうどよい
 2. より短い時間を最小の単位として取得できるようにしてほしい
 3. より長い時間を最小の単位として取得できるようにしてほしい
 4. 分単位で取得できるようにしてほしい

付問5. あなたは、2018年度1年間に、時間単位年休を取得したことがありますか。(1つに○)
 1. 取得したことがある → 付問5-8 (10頁)へ
 2. 取得したことがない → 付問5-8 (10頁)へ

付問5-1. 時間単位年休を何に使いましたか。(該当すべてに○)
 1. 自身の病気などの通院
 2. 家事・育児・子供の行事参加
 3. 介護や看護
 4. 銀行や役所等の手続き
 5. 休養
 6. スポーツや趣味・稽古事
 7. 仕事に関する自己啓発(通学等含む)
 8. ショッピングや外食
 9. 地域・社会活動
 10. 冠婚葬祭
 11. 遅刻時に時間単位年休を利用
 12. その他()

付問5-2. 2018年度において、時間単位年休を取得する頻度はどれくらいですか。(もっとも近いもの1つに○)
 1. 1か月に複数回 3. 2～3か月に1回程度 5. 1年に1回程度
 2. 1か月に1回程度 4. 半年に1回程度

付問5-3. 2018年度において、1回の時間単位年休で取得する時間数は、どれくらいですか。最もよくある場合をお答えください。(もっとも近いもの1つに○)
 1. 1時間 3. 3時間 5. 5時間 7. 7時間以上
 2. 2時間 4. 4時間 6. 6時間

付問5-4. 2018年度において、以下a～cの時間単位年休を取得する時間帯(取得時間帯)のパターンはどの程度ありますか。(各項目でもっとも近いもの1つに○)

	頻繁にある	たまにある	ほとんどない	まったくない
a. 時間単位年休を取得してから出社するパターン	1	2	3	4
b. 出社後、時間単位年休を取得して中抜けし、また会社に戻るパターン	1	2	3	4
c. 終業時刻より前に時間単位年休を取得し、そのまま退社するパターン	1	2	3	4

(すべての方にお聞きします)

10. 年次有給休暇の年5日の取得義務化

問 51. 2019年4月から、年10日以上年次有給休暇が付与される労働者に対して、年次有給休暇の日数のうち年5日については、使用者が時季を指定して取得させることが義務付けられました。このことを知っていますか。

1. 内容を含め知っている 2. 聞いたことがある 3. 知らない

第196回通常国会において、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が成立したことにより、労働基準法が改正され、2019年4月から、全ての企業において、年10日以上年次有給休暇が付与される労働者（管理監督者を含む）に対して、年次有給休暇の日数のうち年5日については、使用者が時季を指定して取得させることが義務付けられました。使用者は、労働者の意見を聴取しなければなりません。また、できる限り労働者の希望に沿った取得時季になるよう、聴取した意見を尊重するよう努めなければなりません。なお、既に5日以上の年次有給休暇を請求・取得している労働者に対しては、使用者による時季指定をする必要はなく、また、することもできません。

問 52. 年次有給休暇の年5日の取得義務化について、どのように感じていますか。

以下のa～eの各項目について、該当する番号に○をつけてください。(各項目で1つに○)

	そう思う	どちらかといえば思う	どちらかともいえない	どちらかといえば	そう思わない
a. 今まで年次有給休暇を取得できていなかったが、取得できるときようになった	1	2	3	4	5
b. 職場のメンバーの休暇取得日が増えたことで、人手不足となり苦労している	1	2	3	4	5
c. 年5日の取得義務化に伴い、会社が所定休日や特別休暇を減らしたため、休日や休暇の総数は増えていない	1	2	3	4	5
d. 以前から積極的に年次有給休暇を取得していたため、あまり変わらない	1	2	3	4	5
e. 取得が義務化された年5日から、時間単位の取得分が控除されないのは不便である	1	2	3	4	5

ご回答いただき、誠に有り難うございました。
 添付の返信用封筒(切手不要)へ入れ、
2020年2月7日(金)までにポストにご投函ください。

付問 5-9. あなたの時間単位年次取得についての満足度はどうですか。(1つに○)

1. たいへん満足している 4. あまり満足していない
 2. まあ満足している 5. まったく満足していない
 3. どちらともいえない

一問 48へ

(すべての方にお聞きします)

問 48. あなたは、年次有給休暇の時間単位年次制度をどのように思いますか。(1つに○)

1. たいへん評価している 4. あまり評価しない
 2. まあ評価している 5. 評価しない
 3. どちらともいえない

9. 年次有給休暇の計画的付与制度について

問 49. あなたは、年次有給休暇の計画的付与制度(年次有給休暇の日数のうち、5日を超える部分については、労使協定により計画的に与えることができる制度)について、知っていますか。(1つに○)

1. 内容を含め知っている 2. 聞いたことがある 3. 知らない

問 50. あなたの勤務先では、年次有給休暇の計画的付与制度が導入されていますか。(1つに○)

1. 導入されている
 2. 導入されていない
 3. わからない

(問 50 で「1. 導入されている」と回答した方にお聞きします。)

付問 1. どのような年休の計画的付与制度が導入されていますか。(該当すべてに○)

1. 事業場全体の休業による一斉付与方式(いわゆる一斉年休)
 2. 班・グループ別などの交代制付与方式
 3. 年次有給休暇付与計画表による個人別付与方式(個人の希望もききながら、業務の都合などにより取得時季を調整する方式)
 4. その他()

付問 2. 計画的付与制度が導入されている場合、どのような頻度で年休の取得日を決めていますか。(1つに○)

1. 年1回 2. 半年ごと 3. 3か月ごと 4. 毎月ごと 5. その他()

付問 3. あなたの計画的付与制度による年休取得についての満足度はどうですか。(1つに○)

1. たいへん満足している 4. あまり満足していない
 2. まあ満足している 5. まったく満足していない
 3. どちらともいえない

(問 50 で 2、3 と回答した方にお聞きします。)

付問. あなたは、現在の勤務先に年休の計画的付与制度があつたほうがよいと思いますか。(1つに○)

1. そう思う 2. そう思わない
 (付問で「2. そう思わない」と回答した方にお聞きします。)
- 付問-1. そう思わない理由はなぜですか。(もっとも近い理由1つに○)
1. 自由に使いたいから
 2. 計画どおりに休めないから
 3. その他()

一問 51 (12頁)へ